

第三十六回帝國議會
衆議院

染料醫藥品製造獎勵法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正四年六月二日午前十時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

綾部 惣兵衛君	橫田 孝史君	山田 正年君
加藤 小太郎君	大澤 辰次郎君	三木 與吉郎君
河崎 助太郎君	飯森 辰次郎君	清水 市太郎君
小林 源藏君	武藤 金吉君	河野 庄太郎君
野尻 岩次郎君	相島 勘次郎君	小山 谷藏君
福田 民平君	阿由葉鎔三郎君	

出席政府委員左ノ如シ

農商務省商工局長 岡 實君 內務省衛生局長 中川 望君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農商務省工業試驗所技師工學博士 高松 豐吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

染料醫藥品製造獎勵法案

午前十時四十六分開會

○委員長(綾部惣兵衛君) 是カラ開會シマス

○橫田孝史君 昨日御尋シマシタニ引續イテ御尋致シタイ、本案ハ先ヅ以テ必要ナリト認メマスルガ故ニ、成ベク完全ナルモノニナラムコトヲ希望スルノデアリマス、既ニ昨日モ疑問ノ餘リ當局者ノ御意見ヲ伺フタノデアリマスガ、稍或ル程度マデハ了解シマシタガ、尙ホ分リ惡イ點ガアル、抑工業ノ獨立ヲ期スル上ニ於テ染料ノ製造發達ヲ望ムト云フコトガ、果シテ必要ナリトスレバ、ドウシテモ工業藥品モ共ニ必要ガアルト云フコトハ申スマデモナイ話デアラウト思フ、然ルニ此案ニ依ツテ見ルト、殆ド工業藥品ハ之ニ加ヘラレヌト云フコトハ、頗ル遺憾ト思ヒ且ツ矛盾シテ居ルト考ヘル、昨日燐寸ノ原料トシテ鹽酸加里、之ニ對シテハ第十條ニ於テ火藥爆發藥ノ原料、藥品ノ製造ト云フコトデアリマシタガ、是ハ唯一ツノ例ニ止ツタ譯デアツテ、例ヘバ大體カラ云ヘバ曹達或ハ加里原料ノ如キハ、或ハ範圍ヲ染料劑ノ中ニ定メテモ現ニ媒染劑、即チ染料ノ媒介トナルベキ藥類黃色血鹼鹽ノ如キ重格酸加里ノ如キ又整理劑トシテノ過酸化曹達ノ如キモノモアル、此染料ダケノ聯絡ノ上カラ云ウテモドウシテモ、工業藥品ヲ加フル事ハ極メテ必要ヲ感ズル譯デアリマス、況ンヤ染料ト離レタモノカラ云ヘバ更ニ廣キ範圍ノ上ニ於テ其必要ヲ感ズルノデアル、何故ニ染料ト醫藥品ノミニ對シテ、此必要ヲ感ゼラレタノデアルカ、工業藥品ニ付テハ其必要ヲ感ゼラレナカッタコト云フコトニ付テハ、今少シク昨日ノ御答辯デハ了解ガ出來惡イト思フ、昨日ノ御答辯以外ニ承ルコトガナケレバ、已ムヲ得ヌ譯デアリマスガ、恐クハ其以上ニ尙且御考ノ存シテ居ル點ガアリハシナイカ、若シ昨日ノ御答辯以外ニ承ルベキ點ガアレバ承ツテ置キタイ、ソレカラ要スルトコロ、此工業藥品ヲ何故ニ此

案ニ加ヘラレナカッタト云フノガ質問ノ主要點アル、ソレカラ今一ツハ此二條、第二條ハ最モ皮肉ニ言ヘバ殆ド排外的ノモノガ條文ニナッテ居ル、ドウシテモ日本ハ本位ノ即チ條文ニナッテ居ル、抑保護ノ目的ハ事業者ニ在ルカ事業其モノニ在ルカト云フノガ、自分ガ疑フ生ズル主要點アル、テ事業者ヲ保護スルト云フノミヲ考デアレバ、第二條ノ規定モ必要アル、昨年ノ時局以來所謂苦キ經驗ノ下ニ、非常ニ當業者ガ迷惑ヲ感ゼラレテ居ル、此意味ニ於テ事業ヲ保護スルト云フ主義ヲ果シテ本位ナリトスレバ、第二條ノ規定ノ如キハ、餘リ窮屈ニ失シテ居リハシナイカ、ソレカラ次ハ第五條、是レガ一ツノ疑問デ、抑染料ニセヨ或ハ醫藥品ニセヨ、工業各製品ニセヨ、極メテ複雑ナル事業アル、複雑ナル事業ナルガ故ニ、或ル一品ノミヲ專業トシテ或ハ會社ヲ興ス、若クハ企業スルトカ云フコトハ、極メテ稀ニ見ル事實デアルト思フ、然ルニ此第五條ノ趣意ハ即チ兼業ノ場合アル、此兼業ノ場合ニ於テ或ハ此營業費アルトカ云フ此一事情ヲ見マシテモ、如何ニシテ此保護スベキ製品ニ對シテ區別ヲ見ルカト云フコトハ、極メテ至難ナコトデハナイカ、當局者ハ果シテ斯ウ云フ場合ニハ如何ナル方法ノ下ニ之ガ實施シ得ラレルカト云フ御考ガナクテハナラヌト思フ、是ガ第二ノ疑問アル、尙外ニ一二伺フテ見タイ點モアリマスガ、外ノ諸君ノ質問モアラウト思ヒマスカラ、先ヅ三點ニ付テ質問致シマス

○政府委員(岡實君) 日本ニ於キマシテ單ニ染料ノミナラズ、其他ノ工業ノ材料トナルベキ工業藥品ノ生産ガ未ダ不十分デアリマス、ソレガ爲ニ起ルベキ事業モ起ラナイト云フコトヲ認ムル點ニ於キマシテハ、全ク橫田君ノ感ヲ同ジウシテ居リマス、而シテ進ンデ尙ソレ等ノ工業藥品ノ製造ヲ日本ニ於テ保護助長スルノ必要モ痛切ニ之ヲ認メテ居ルデアリマス、併シナガラ其保護助長ノ方法ト致シマシテ、種々ノ方法ガアラウト思フデアリマス、十年間八分ノ補助利子ヲヤルト云フ方法ノ如キハ、最モ保護方法トシテハ手厚イ方法デアツテ、其保護ノ目的トナル事業ハ、又最モ困難ナル事業デナクテハナラヌト考ヘマス、デ若シ然ラズシテ比較的簡易ナル方法ヲ以テ保護助長シ得ルモノナラバ、政府トシテハ簡易ナル保護ヲ執ルベキデアラウト考ヘマス、デ御承知ノ如ク日本ニハ未ダ化學工業ガ起リマセヌトデ、而シテ其化學工業中ノ二大眼目トモ申スベキトコロ「染料」ヲ蒸溜工業、及曹達工業、此二事業ニ付テハ先般農商務省デ開キマシタ化學工業調査會ニ於キマシテ、政府トシテ先ヅ此二ツノモノヲ保護助長スベシト云フコトヲ決議致シタノデアリマス、他ノモノヲ助長スル必要ハ之ヲ認ムルガ、何ヨリモ先キニ先ヅ「染料」工業、ソレカラ曹達工業、此二ツノモノヲ土臺トシテ、此土臺ヲ先ヅ政府ガ保護助長スベシ、此土臺タルベキ事業ガ起レバ今度外ノ化學工業、其中ニハ工業藥品ヲ拵ヘル事業モ多クアルノデアリマスガ、ソレ等ノ事業ハ自ラ之ニ伴フテ起ツテ來ルデアラウ、例ヘバ染料工業ト云フモノガ茲ニ起ツタナラバ、其染料ヲ造ルニ必要ナル各種ノ補助トナルベキ此助材ガ自ラ起ラザルヲ得ナイ、曹達ニ付テモ亦同デアル、此基礎トナルベキ一大工業ヲ保護スルトコトニ付テ、其他之ニ所隨スル事業ト云フモノガ必ズ起ツテ來ルデアラウ、政

府ハ何ヨリ先キ先ア此ニ大眼目ニ向テ十分ナル保護助長ノ方法ヲ執ツテ貫ヒタイ、化學工業調査會ハ之ヲ熱心ニ主張シマシテ、其旨ヲ農商務省ニ答申致シタ譯デアリマス、而シテ農商務省ト致シマシテハ、先ヅ此ニツモノヲ以テ我國ニ於ケル化學工業ノ一大眼目ト認メテ、其中テ最モ此時勢ノ必要ニ應ズベキトコロノ、又當業者トシテハ最モ缺乏ヲ成シテ居ル、染料「染料」蒸溜工業、之ヲ先ヅ取上ゲタノデアリマス、而シテ他ノ「アルカリ」工業、曹達事業ニ至リマシテハ唯今熱心ニ調査ヲ爲シツ、アルノデアリマス、少シ話ガ餘談ニ互リマスガ、曹達事業ニ付キマシテハ其原料タル食鹽——食鹽問題ガナカク解決ガムツカシイノデアリマス、其結果ト致シマシテ此臨時議會ニハ曹達工業ノ保護助長ノ方法ヲ御協賛ヲ仰グマデノ運ビニナリマセヌデアリマス、併ナガラ何トカシテヤハリ此手段ニ付テモ、政府ハ提出シナケレバナラヌト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ要スルニ政府ハ化學工業ノ發達ヲ企圖スル、而シテ其ニ大眼目タル事業ニ對シテ最モ鄭重ナル、最モ厚キ保護ヲ爲サント欲シテ居ル、而シテ目下緊急ノ必要ニ迫ッテ居ルトコロノ染料事業ヲ先ヅ取上ゲタノデアリマス、此事業ヲ保護スルニ依ッテ、其他ノ事業モ自ラ之ニ附隨シテ來ルデアラウト考ヘテ居ル、御承知ノ如ク化學工業藥品ハ、凡ツ三千万圓ノ輸入ガアルノデアリマスガ、若シ是等ニマデ其保護ヲ擴メルト云フコトニナリマスルト、ドノ邊テ區域ヲ切ルベキカト云フコトモナカク、困難ナ問題トナッテ來ルノミナラス、國庫ノ負擔ト致シマシテモ又更ニ重加シテ來ルデアラウト存ジマス、故ニ政府ト致シマシテハ適宜尙簡易ナル方法、十箇年八分ノ利子保證ト云フガ如キ手厚イ方法ヲ用井ル必要ナシ、他ノ簡易ナル方法、例ヘバ工業試驗所ノ擴張ト云フヤウナ方法ヲ以テ、其要求ニ應ジタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、先ヅ昨日申シマシタト大體趣意ニ於テハ變リハナイガ、第一問題ニ對シテハ左様御承知ヲ願ヒマス、第二ノ問題タル外國人が少數デナクテハ行カヌ、先ヅ日本ノ人民ガ資本ノ半分以上、又議決權ノ半數以上ヲ持ッテ居ルト云フノハ、甚ダ度量ノ狹イ話デハナイカ、事業ヲ保護スルナラバ先ヅ斯ウ云フコトハナイ方が宜カラウ、其點ニ對スル政府ノ所見如何ト云フ御尋ト了解致シマシタ、政府ハ日本ニ此事業ノ起ルコトヲ希望シ又起ル以上ハ成ベク日本人ノ手デ起シタイト考ヘタノデアリマス、而シテ御承知ノ如ク此日本ノ國家カラ補助ヲヤルト云フ場合ニハ、例外ナク此會社ハ必ズ日本人ノ會社デナケレバナラヌ、日本人バカリノ株主デナケレバナラヌト云フノガ、是迄ノ例ニナッテ居ルノデゴザイマス、即チ外國人が日本ニ來テ事業ヲ營ミ、日本ノ國庫ノ補助ヲ貰フコト無カラシムルト云フ例ガ出來テ居リマス、此二條ハ從來ノ立法例ニ例外ヲ設ケタノデゴザイマシテ、外國人ト雖モ少數デアレバ補助ヲ受ケルコトガ出來ルト云フコトニ致シマシタ、若シ假ニ外國人が全資本デ居シテモ差支ナイト云フコトニ致シマシタ、ドウ云フ結果ニナルカ、最モ極端ナ例ヲ申シマス、例ヘバ外國ノ染料會社ノ如キハイロ／＼ムツカシイ問題ヲ眼前ニ持ッテ居ル、ツレガタメニ大キナ資本ヲ抛ッテ研究スル其目的ノタメ、日本ニ參ッテ或會社ヲ設ケテ、日本ノ會社ト云フコトニシテ研究ヲヤッテ損ヲスル、此場合ニ日本ノ八分ノ補助利子ト云フ保護ノ下ニ、外國人が日本ニ研究所ヲ設ケテ、發明權ハヤハリ自分ガ收得シテシマフト云フガ如キ場合ヲ生ジテ來ル虞レガアルマイカ、是ハ極メテ極端ナ場合デゴザイマスガ、斯ルコトハ恐ク生ジマスミト思ヒマス、ケレドモ併シ斷ジテ生ジナイト云ヘナイノデゴザイマス、サ

ウ致シマス日本ハ外國人ノ研究所ノ損失ヲ補填シテヤッテ、外國人ニ「パテント」ヲ日本デ拵ヘサスト云フコトニナッテ、餘程妙ナ結果ニ陷リハセヌカト思フ、夫等ノ點ヨリ日本人ガ主腦デアリマスカラ、總テ一面ニ於テ外國人ノ製造「パテント」ヲ、日本ニ輸入スル必要ガアルカラ從來ノ立法例ノ例外ヲ置クコトノ必要ヲ認メテ少數ナラ宜シイト云フコトニ致シマシタ、次ノ御尋ニ移リマス、次ノ御尋ハ第五條ニ關シタコトデゴザイマセウ、其御尋ノ趣意ハ特別會計ヲ拵ヘルト云フコトガ、餘程困難ナ話デアアルマイカ、政府ハ特別會計ノ整理ニ付テハ如何ナル考ヲ持ッテ居ルカト云フノガ御尋ノヤウニ考ヘマス、横田君モ御心配ノ如ク、兼業ノ場合ニ特別會計ヲ別ニ設ケシメテ、之ニ對シテ收支計算ヲ本會計カラ切り離スト云フコトハ、事實ニ於テ餘程困難ト信ジテ居リマス、併ナカラ此事ハ不能事デアルト考ヘマス、即チ染料ヲ拵ヘルニ付テハ、其染料ヲ拵ヘルダケノ裝置ハ測定シ得ルコト、存ジマス、既ニ其裝置ヲ測定シ得タナラバ、又染料ヲ拵ヘル爲メニ各種ノ原料ヲ本簿カラ引離シテ、別ノ帳簿ニ記ケシムルコトガ出來ルト信ジマス、例ヘバ瓦斯會社ガ染料ヲヤル場合ニ於テモ、先ヅ染料事業ハ染料事業トシテ全然性質ノ變タモノデゴザイマスカラ、染料事業ダケニ付テ會計ヲ立デシメルコトハムツカシクナイト思ヒマス、即チ今日瓦斯會社ニ於テ染料ヲ拵ヘルマデ事業ヲ進メテ居リマセヌカラ、今後起ルベキ染料工業ノタメニ、新ニ設備ヲシ、之ニ要スル品物ノ出入ニ對シテ政府ハ監督ヲ開始スルコトハムツカシクナイト信ジテ居リマス、是等ニ付キマシテ第五條ニゴザイマス通り命令ヲ以チマシテ、特別會計ノ組立豫算ノ狀態、帳簿ヲ別ニスルコトカラ、總シテ一定ノ規律ヲ立テ積リテ居リマス、サウシテ政府ハ別ニ監督官吏ヲ任命シテ、農商務省ニ於テ「コールタール」事業ヨリ生ズル製品ノ製造ニ關シテ、內務省ハ醫藥品製造ニ關シテ特ニ監督官ヲ特設スル積リテゴザイマス、此費用ハ或ハ此議會ニ於テ追加豫算トシテ要求スルカモ知リマセヌ、ツレハ監督官吏ハ不斷會社ニ出張シテ、其會社ニ在ル小サナ道具ト雖モ本會計ニ屬スルカ、特別會計ニ屬スルカト云フコトハ平生カラ知ッテ居ッテ、本會計ト特別會計ノ間ニ苟モ收支ノ紛亂ヲ生ズルコト無カラシムルヤウニ、注意シテ考ヘテ居リマス

○横田孝史君 今一ツ成ルベク簡單ニ申シテ他ノ諸君ニ譲リマスガ、工業獨立ノ必要ニ化學工業獎勵ノ爲メニ、此案ニ工業藥品ヲ加フベキモノト考ヘマス、即チ御説明ニ依リマス化學工業ヲ本位トシテ、其基礎トナルベキモノニ對シテ此發達ヲ望ム、即チ保護ノ所以ハ此點ニ在ルト云フヤウナコトニ同ジヤウニ思ヒマスガ、丁度御説ガ本末顛倒シテ居リハシマイカト思ヒマスガ、果シテサウナッテ見ルト、益々自分共ハ本來染料ヲ本位トシテ組立テ、居ラレテ居ルヤウニモ考ヘラレル因ッテ此點ニ付テ疑ヲ深クスルノデアリマスケレドモ、此以上ハ意見ニテリマスカラ申シマセヌ、第二條ノ御説ハ一應御尤モノヤウデアリマスガ、唯自分共ノ考ヘ、此場合ハ事業者ヲ保護スベキカ事業其モノヲ保護スベキカト云フノガ、即チ御答辯ト私共ノ考ト稍、此點ニ於テ違ッテ居ルノデアリマス、即チ昨年歐洲動亂以來ノ經驗、即チ供給力ノ缺乏ノタメニ此不便ニ陷ッテ、其結果此案ガ生レタ、此意味ニ於テスレバ當業者ノ保護ヨリ、事業其物ノ保護ノ方が必要デアルト云フ風ニ考ヘル、是モ意見ノ相違デアリマスガ、例ヘテ申セバ近頃電球製造事業ガ東京ヲ始メ其他至ル所ニ出來タ、其主要點タル「タングステン」ノ如キハ「パテント」即チ專賣品

デアリマス、近來我國ニ於テ其炭素線ヨリ「タンゲステン」ノ方が盛ニ行ハレル、是ハ外國人ノ專賣ニ屬スルニモ拘ハラズ、内地ニ電球製造事業ノ起ツテ以來、而モ就中外國人ノ多ク關係モアルヤウデアアル、需用者ニ於テ大ナル便利ヲ得テ居ル、事實ニ於テ見マサルモ此第三條ノ外國人ノ重ナル經營ヲカシモ之ヲ排斥スル必要ハナカラウト考ヘマス、是モ亦意見ニナリマスカラ此場合申シマセヌガ、ソレカラ第五條ノ如キモ頗ル至難ノコトデアアル、現ニ營業費ノ如キ如何ニシテ之ヲ區別スルカ、唯机上ノ帳簿位ニ依ッテ區別ノ出來ベキモノデナイト考ヘマスガ、此點ニ於テ唯今ノ御説ハ一應御尤デアリマスガ、此案ノ成立ヲ希望スル上ニ於テ十分ノ御考慮ヲ願ヒタイ、今一ツダケ伺ッテ置キマス、此保護點ニ於テ先ヅ少數ノ大會社ニ向ッテスベキカ、或ハ多數ノ小會社ニ向ッテスベキデアルカ、是ハ餘程ムツカシイ問題デアリハシナイカト思ヒマス、是モ事業者保護者ノ目的ニ依ルカ、事業其物ノ保護ノ目的ニ依ルカ、是モ意味ニ於テ第二條ニ對スル説ト同一ニ歸シハシナイカ、若シ無經驗ナル未熟ナル多數ノモノニ、殆ド競争ノ事業ニ對シ、即チ八朱トスレバ私設鐵道五朱ニ對シテ三朱多イ、昨日申シマシタ如ク吾々ハ引續イテ此事業ハ競争ノデアアル、餘程困難デナイカト云フコトヲ慮ル、此保護ヲ帶スル會社、即チ事業者ニ對シテハ、如何ニシテ之ヲ區別セラルカト云フコトガ、自分共ノ知リタイトコロデアリマス、此一事ダケヲ質問シテ他ノ諸君ニ御譲リスルコトニ致シマス

○政府委員(岡實君) 唯今ノ御尋ニ御答致シマスガ、染料工業ノ如キハ他ノ事業ト異リマシテ餘程大ナル設備、又多クノ俸給ヲ拂ッテ立派ナ技術者ヲ聘僱シ、又之ヲ養成スルコトヲ要スル事業デアリマス、ソレ等ノ點ヨリ致シマシテ、餘リ多數ノモノニ此保護ノ恩典ヲ擴メルコトハ斷ジテ致サナイ考デアリマス、サウシテ自分共成ベク多クノ資本ヲ持ッテ居ル、即チ今申シマシタ如ク、十分ナル用意ヲ以テ此事業ヲ達成シ得ルト見込メ者ニ向ッテ、補助金ヲ與ヘルト云フ趣意デアリマス

○清水市太郎君 私モ此案ハ此時期ニ於テ必要ナ案ト思ヒマスシ、成立センコトヲ希望スル一人デアリマスガ、ソレニ付キマシテ第一ニ承リタイノハ、此化學工業ト云フモノガ非常ニ必要ナコトデ、大ニ國ノ富ヲ増シ、廢物ヲ利用シテ立派ナ富ヲ產出スルコトデアッテ、最モ必要ナコトデアリマス、殊ニ獨逸カラ輸入スルコトガ出來ナクナツタ此場合ニハ甚ダ大切ナコトト思ヒマス、ソレニ付テハ獨逸染料醫藥品ニ限ラズ、汎ク化學工業獎勵法ト云フヤウニ、之ヲスル譯ニイカヌモノデアリマスサト云フコトガ、第一ニ政府ノ御意見ヲ承ハリタイ、ソレカラ第二ニハ此三條ノ補助ノ點デアリマスガ、此法條ニ依リマスト拂込株券額ノ百分ノ八ト云フ營業全體ノ上ニ對スル補助ニナルノデスガ、私ハ竊ガニ獨逸ノ化學工業ノ盛ナルコトヲ其筋ノ人カラ承ハリマスニ、大ニ學術ノ實地トノ聯絡ガ密接ニツイテ居ル、即チ學校ヲ卒業シタ者ガ大會社ニ備ハレテ、五十人乃至二百人モ二百人モ備ハレテ、居ル、サウ云フ會社ナダガアル、殊ニ染料藥品等ノ會社ニ於テサウ云フヤウデアリマス、サウ云フ者が安イ給料ヲ甘シテ備ハレテ居ル、サウシテ一ツ發明ヨナスト其發明ノ功ニ依ッテ直チニ利益ノ割合ヲ貰ヒ、大株主ニナルトカ、大ナル利益ヲ貰フト云フコトデ、非常ニ樂シメ其研究ヲスルト云フコトニナリマス、サウ云フヤウナコトハ斯業ノ進歩發達ニ必要ナ仕組デアラウト思ヒマス、此營業ヲ補助スルト云フコトモ結構デアリマセウガ、サウ云フ學術ヲ直チニ實地ニ應用スル密接ノ關係聯絡ト云フモノヲツケ、サウ

云フ技術ノ方ニ向ッテ一生懸命ニナルモノヲ養フト云フコトハ、最モ捷路デアリ獎勵法ハナイカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ此三條ノ持テ來テ、何か其會社ノ資本ニ應ズルカ、又ハ種類ニ應ズルカ、何人マデ技術相當ノ資格アルモノハ給料幾ラカラ幾ラマデノ者ヲ、何人ニ支給スル補助ヲ與ヘルト云フヤウナコトニスルノガ必要デハナイカト思ヒマス、獨逸ガ今日化學工業ノ盛ニナリ、殊ニ染料藥品ニ於テ大發展ヲシタノハ、全ク唯今申シマシタヤウニ、二百人デモ二百人デモ平生遊バシテ給料ヲヤッテ、ムダナヤウナコトヲシテ居ルガ、一朝ソレ等ノ人ノ中デ大發明ヲスルモノガアレバ直チニ元ヲ取返シ、發明シタモノハ非常ナ利益配當ヲ受ケルヤウニナリマスカラ、大ニ奮發シテヤッテ居ル、ソレハ獨逸ノ至ル所デヤッテ居ル、其結果今日獨逸ガ化學工業ノ大發展ヲ來タシテ、年額ハ億萬圓ノ化學工業ノ產物ガアルト云フコトニ現ハレテ居リマス、サウ云フ方カラ言ヘバドウシテモ我國ニ於テモ、サウ云フ種類ノ技術者ヲ會社ニ應用シテ、實地ノ研究ヲサセテ、其發明ヲ獎勵シ、利益ヲ得セシムルヤウニスル設備ガ必要デハナイカト思ヒマス、此點ニ對シテ政府ノ御意見ハドウ云フモノデアルカ伺ヒタイデアリマス、ドウモ會社ハ割合ニサウ云フコトニ金ヲ出サウナコトヲシナイデ、學問ノ價ハ認メテ居ラヌヤウナ有様デスカラ、唯今申サウナコトハ、私ハ今日ノ場合必要ナコトデハナイカト思ヒマス、唯今工業試驗所ナダガアッテ結構デアリマスガ、ソレデアハ名譽ノ方ニハナルデアリマセウガ、獨逸ノヤウニ發明ヲスルト利益ノ配當ヲ受ケテ大ニ出世スル、サウ云フヤウナ獎勵ノ法ガ立ッテ居リマセヌカラ、俸給ハ貰ッテ居ルガ利益モ何モ貰フコトノ出來ナイ、名譽ヲ發明スルト云フコトニ較ベレバ非常ニ相違ガアルト思ヒマス、ノミナラズ其研究ヲサセル爲メニ備ッテ居ル人ノ數ハ甚ダ多イ、サウ云フ會社ガ幾ツモアル、サウ云フ方ノコトヲ此三條ニ含メルヤウナ風ニハナラナイモノデアリマセウガ、御意見ヲ承ハリタイ、ソレカラ第二ニハ先刻横田君ノ質問ノ中ニアッタ思ヒマスガ、此染料ヲ斯ウ云フ風ニ限ラレテ居リマス、此種ノモノニ向ッテハ宜イデアリマセウ、是ハ愈、以テ大發展ヲスルデアリマセウガ、尙之ニ這入ッテ居ナイ染料ニシテモヤハリ研究サレラユウニ御獎勵ナスッタラドウデアラウカ、既ニヤリカケテ居ルモノヲ益、研究サレテ、大ニ成功セシムルノモ宜イガ、ソレダケノモノデハ少シ不満足不完備デアリハセヌカ、尙之ニ含マレテ居ラヌ染料ト云フモノヲ研究スルモノガアツタラ、ソレ等モ保護スルヤウニ擴メル方が宜クハナイカ、一種ノ專賣ニナツテシマツテ、折角ノ獎勵ヲ妨ゲルヤウナコトニナツデハイカヌト思ヒマスガ、其邊ノ御意見ハドウデアリマス伺ヒマス

○政府委員(岡實君) 第一ノ御尋カラ御答致シマス、是ハ先程横田君ニ御答致シマシタノト略々同一ノ趣意ヲ繰返スコトニナルノデスガ、少シ變タコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、此化學工業獎勵法ニ於テハ、政府モ希望スルトコロデアリ、此事ヲ改メテ化學工業獎勵法ニナスト云フコトハ結構ナコト、考ヘルデアリマス、併ナガラ化學工業ノ獎勵ノミナラズ、一般ノ工業獎勵ニ付テハ、既ニ議會ノ協賛ヲ御與ヘニナツタイロノコトガアルデアリマス、即チ先程申上ゲマシタ工業試驗所ヲ始め、法律ヲ以テ産業試驗ノ獎勵ト云フモノガ出デ居リマス、即チ産業上ノ試驗實驗ヲヤル場合ニハ、國庫ニ必要ナル金ヲ支出シテヤルト云フ、サウ云フ法律ガ出デ居リマス、其全額ハ餘リ多クハアリマセヌガ、アルコトハアルノデス、故ニ今後工業獎勵ニ付テ、一般ノ獎勵ニ付テハ是等ノ法律ノ金額ヲ少シ御増シ下サイマスレバ、ソレニ依ッテ目的ヲ達スルコトガ

出來ルノデアリマス、又既ニ議會ノ御協賛ヲ得テ居リマス工業獎勵費ト云フモノモゴザイマス、是モ金額ハ餘リ多クゴザイマス、政府ハ工業上必要ナル實驗試驗ノ研究等ヲ爲ス者ニ對シテ、工業獎勵費ノ中ヨリ致シテ必要ナル補助ヲ爲シ、若クハソレニ必要ナル金額ヲ與ヘ、若クハ必要ナル機械ヲ與ヘ裝置ヲ爲シテヤルト云フコトハ、此目ノ中ニ存在シテ居ルノデアリマス、是等ノ費目アルニ拘ラズ染料ニ限ツテハ、何故ニ、然ラバ斯ク云フ法律ヲ出スカ、此染料工業ハ他ノ學校用ト殆ト離レテ非常ニ難イ事業ト考ヘテ居ルノデアリマス、其證據ニハ他ノ工業ハ是マデ大ナリ小ナリ少シ、ハ日本ニ起ツテ居ルノデアリマス、此染料工業ニ至テハ會テ起ツテ居ラヌノデアリマス、何人モ之ヲヤラウト云フ勇氣ノ者ガナイノデアリマス、ソレハ何故カト申シマス、唯今清水君ノ御話ノ如ク餘リ獨逸ノ發達ガ著シク、獨逸デハ何事モ資本ヲ掛ケテ各種ノ研究ヲヤツテ居ル、獨逸ニ及ブコトハ到底及ビモ付カヌ、日本デヤツテ見テモ速モ及バヌ、斯ウ是マデ工業家ガ考ヘテ居リマシタノデアリマス、今日マデ學者ガヤカマシク此工業事業ヲ起スベシト云フニ拘ラズ、會テ起ツテコトハナイ、瓦斯會社ガ近イ所マデヤツテ居リマスガ、此染料マデヤルト云フコトガ出來ナイノデアリマス、又此事業ハ工業中ノ第一位ニアルモノト考ヘマス、又最近ニ至リマシテ英吉利ノ如キハ二千萬圓ノ資本、之ニ對シテ政府ガ一千万圓ヲ四分ノ利息デ補助シテ與ヘ、試驗費ハ一百万圓補助シテ居リマスガ、英吉利ノ如キ自由國デ、加之獨逸トハ極メテ近イ所デ、此事業ハ果シテ戰後ニ於テ獨逸ト對抗出來ルカト云フコトヲ疑ツテ居リマス、初メ豫期シタ如クニ進捗シテ居ラヌノデアリマス、獨逸ガ餘リ發達致シマシタカラ、英吉利ト雖モ之ニ對シテ仍フコトヲ躊躇シテ、モウ少シ學者ヲ寄セテ研究シナケレバナラヌト云フ議論ガ盛ニ出テ居ルノデアリマス、其位ムヅカシイ事業デゴザイマス、獨逸ノ通リニ發達スルノハナカ、容易ナコトデハナイ、昨日モ申シマシタ通り極メテ平凡ノ染料ハ出來マスルガ、獨逸ト同ジヤウニスルト云フコトハ難イノデアリマス、其位難イ事業デゴザイマス、産業獎勵費ノ規定ニ依テ此事業ノ發達スルコトハ出來マセヌ、又工業費ノ中カラ費用ヲ出シテ、特別ノ此處ニ施設ヲ爲シテ特別重大ナル施設ヲ爲シテ重大ナル工業ヲ保護シヤウト考ヘタノデアリマス、政府ハ之ニ付テハ特別ノ補助法ヲ要スルト云フ見地ヨリ致シテ、染料補助法ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、第一問ハ之ニ依テ御了解ヲ願ヒマス、第二ノ技術者ニ付テ十分ノ優遇スル會社デナケレバ、速モ此事業ノ成功ハ難シカラウ、故ニ政府ガ補助利子ヲ付テハ、十分ナル注意ヲ拂ツテ其發明スル技術者ガアレバ之ニ對シテ優遇シテ、十分ニ擴張シテハ如何、斯ウ云フ御質問ノヤウデゴザイマス、政府ハ其點ニ於テハ全ク同感デアリマシテ、左様致ス積リデアリマス、ソレハ今日御手許ニ廻シマシタ命令ニ規定セント考ヘテ居リマス、政府ハヤハリ主任技術者ニ付テ十分監督ヲ爲ス途ヲ存シテ居リマス、其他政府ハ補助ヲ付スニ依テ、是ナラバ會社ニ對シテ各種ノ注文ヲ爲スコトハ出來ヤウト存ジマス、清水君ノ御心配ノ點ハ十分ニヤツテ除ケルコトガ出來ヤウト考ヘテ居リマス、ソレカラ第三ノ御質問ノ染料ヲ限定シタノハ如何、モット他ノ染料モ保護スル途ヲ開イタナラバ宜カラウト云フ御意見ノヤウニ承リマシタガ、左様デゴザイマス

○清水市太郎君 左様デス
○政府委員(岡實君) ソレハ先程申上ケマシタ中ニ包含致シテ居ルノデアリマスガ、

第一條ニアリマス「アニリン」染料「アニソール」染料「アリザリン」染料ナドハ、是ハ「コーラルター」蒸溜ヨリ生ズル染料デゴザイマス、其他ノ染料ニ付テハ其難易ノ程度ニ於キマシテハ遙カニ是等ヨリ下ニアルノデアリマス、同様ニ到底比較スルコトハ出來ナイト云フ考デアリマス

○山田正年君 私ハ染料藥品ニ付テハ何等經驗モアリマセヌカラ、或ハ質問ノ的ヲ外レルカモ知レマセヌカラ、宜シク御了承ヲ願ヒマス、歐洲ノ戰亂ガ何時平和ニ復スルカト云フコトハ是ハ問題デアリマス、多クノ人ノ想像スル所ニ依リマス、レバ今年或ハ明年ニ於テ平和ニ復スルモノト想像シテ居ルノデアリマスガ、此戰亂ガ平和ニ復シマスルト、今後モ即チ染料ノ製造力ガ舊ニ復シマセウ、サウ致シマスルト内地ヘモ染料ガ入ッテ來ルコトニナラウト思ハレマスガ、果シテ今年乃至明年ノ中ニ平和ニ復スルモノト致シマスレバ、此染料ニ致シマシテモ戰亂以前ノ値段ニ直チニ復スル御考デゴザイマス、又何等カ——原因ニ依ツテ今年ノ中ニ平和ニ復シマシテモ、此相場ガ或程度マデハ續イテ行ク御考ヘデゴザイマス、是ハ政府ノ御考ノ程ヲ御示シ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ日本ノ染料ガ紺其他ヲ染メマスニハ、内地ノ蠶ヲ用井テ居タコトハ近キ以前デラウト思ヒマス、ソレガ一朝外國ノ化學染料ガ入ッテ來マシテ、忽チ内地ノ蠶ヲ壓倒シテ仕舞フノデアリマス、此間ノ豫算會ニ於キマシテ政府ノ誰方カニ對シテ御答ニハ、十箇年ノ補助利子ヲ會社ニヤツテ居ル、其間ニ研究サレタナラハ今ノ外國製品ト同等ノモノガ日本デ出來ルコトニナラウト云フ御話デゴザイマシタガ、十箇年ノ歲月ヲ費シテ今現ニ在リマス物品ノ研究シテ居リマス、其間ニ外國ニ於テハ「ドシ」今在リマスモノニ改良ヲ加ヘテ、日本ノ研究シテ居ルモノヨリモ餘程優レタモノガ出來ルト思ヒマス、サウスレバ詰リ大人ト小兒ト駢比ベラスルト同様ニ何時デモ追付クコトガ出來ナイト、空シク其勞ヲ費シマシテモ何等ノ甲斐ガナイヤウナコトガアリハスマイカ、此點ヲ御示シ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(岡實君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマス、戰後果シテ歐羅巴ノ染料ハ、時局以前ノ如キ相場ニ復スルヤ否ヤ、其見込如何ト云フ御尋ト了了解致シマシタ、戰後歐洲ニ於ケル物價ハ一般ニ騰貴スルデアラウト云フコトハ、多クノ人ノ認メテ居ルコロデゴザイマス、此戰後ニ於ケル一般ノ物價ノ騰貴ノ趨勢ニ依リマシテ、染料モ亦餘リ從來ノ如キ廉價ノ直段デ供給スルコトガ出來ナクナラウト存ジマス、ソレノミナラズ、又獨逸ノ染料會社ハ唯今ノ所デハ軍用品ヲ多ク造ルコトニ力ヲ割イテ居リマス、ソレガ爲メニ獨逸自身ガ既ニ染料ノ缺乏ヲ訴ヘテ居ル、而シテ又其他ノ歐洲各國モ孰レモ染料ノ缺乏ヲ感ジテ居ルノデアリマス、若シ時局ガ平定致シマス、モ獨逸自身ガ既ニ染料ノ缺乏、又各國ガ數年ニ亙ル染料ノ缺乏スル狀態ニアルノデアリマス、一般の物價騰貴ノ趨勢ト、又染料ノ久シキ間供給ヲ絶ツテ居タ上ヨリシテ、其物ニ對スル要求ノ程度ガ一層大デアルト云フ二ツノ原因ニ依リマシテ、時局平定後モ容易ニ時局以前ノ如キ相場ニ復歸スルコトモムヅカシイコト考ヘテ居リマス、第二ノ問題、此點ハ山田君ノ御考ト全ク政府ハ同ジ考ヲ有ツテ居ルノデアリマス、即チ獨逸ハ獨逸デ、又一層必ズ進歩シタ研究ヲスルデアラウ、日本デ研究ヲシテ居テモ、容易ニソレハ追付クコトガ出來ナイデアラウ、全ク其點ハ吾々モ感ラ同ジクシテ居リマス、併シナガラ斯ウ云フ點ニ於テ又大ニ我

國トシテハ利益ナ點ガアルノデアリマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスルト、日本人ヲ初メ支那人ノ如キ、色ト云フコトニ付テハ、寧ろ簡單ナ色ヲ需用スル側デゴザイマス、歐羅巴ヤ米國ト云フコトニナリマスルト、色ト云フコトニ對スル考ガ餘程複雑デゴザイマス、從ッテ色ノ種類モ實ニ多クアル、殆ンド二万以上ニ達シテ居ル云フコトヲ承ッテ居リマス、例ヘバ歐洲ノ婦人ガ色ヲ選擇致シマスルニシテモ殆ンド差異ノナイ色デモ、尙差異デアルト云フコトヲ發見シテ、物ノ色ノ鑑別ノ力ト云フモノハ、非常ナモノ故ニ、獨逸アタリノ染料會社ノ技師ハ常ニ新シイ色ヲ拵ヘルコトニ全力ヲ注イデ居ル、成ルベク新ラシイ色ヲ拵ヘテ、其色ヲ流行ラセヤウト云フコトヲ考ヘテ居ルデアリマス、我國ハ近時ニ至リマシテ昔ト變ッテ餘程色ト云フコトニ付テモ發達致シテ參リマシタケレドモ、ドチラカト云ヘバ先ヅ需用サレル其色素ノ種類ガ、極メテ僅カナモノデアリマス、ソコデ我國最モ廣ク行ハレテ居ルコロノ色素ノ種類、是等ノモノニ付テ、先ヅ日本ハ成功シタナラバ其成功タルモウ動カナイ成功ニナルデアラウ、故ニ最モ我國及ビ隣國支那ノ需用ニ應ズル如キ、色素製造業ヲ我國ガ開始シテ、贅澤ナ日本ノ社會ヨリモ、需用ノ非常ニ遠イ所ノムヅカシイ染料ハ、獨逸ハ大ニ發達スルカ知レマセヌガ、ソレハ發達シテモ日本ニハサウ云フ類ハ痛痒ヲ感ジナイモノニ於テ、發明研究ガ是カラ先キ出來テ來ルデアラウト存ジマス、詰リ本綿ニ致シマシテモ、太糸ノ木綿ガ需用ガ廣イ之ヲ日本紡績會社ガ拵ヘタラ、ソレニ依ッテ紡績會社ノ基礎ガ極ッテシマフト云フ如キ、日本ノ一番需用ノ廣イ比較的簡單ナ事業成就成功致シマスレバ、其成功タル動カナイ成功ニナルデアラウ、併シムヅカシイ複雑ナル非常ナ學理的研究ヲ要スルモノニ付テハ、獨逸ニ匹敵スルコトハ、是ハ或ハ當分ノ中ムヅカシイカモ知レマセヌ、併シサウ云フムヅカシイモノ、需用ノ少ナイモノ、歐羅巴人ノミガ需用スル如キ染料ニ付テハ、日本人ハ技術ニ於テ獨逸人ニ及バズトモ、是ハ餘リ憂フルニ足ラヌコト、考ヘテ居ルノデゴザイマス

○相島勘次郎君 代議士會ガアリマスカラ、退席シナケレバナリマセヌガ、チヨット御伺申シタイノデアリマスガ、規則ノ文面デゴザイマスガ、本法施行ノ日ヨリ十年ヲ限ルトアルノデアリマスガ、是カラ五年經ッテカラ會社ガ起ッたら五年ハ給スルコトニナルノデアリマスガ、本法施行ノ日ヨリ十年、十年トアルカラ若シ是カラ三年目ニ會社ガ出來タスレバ、其會社ハ七年間保護ヲ受ケル權利ガアルノデアリマスガ、命令ノ定ムル處ニ依リタルカラ、此結果極ク近々ノ中ニ何月幾日マデニ出來テ、ソレカラト云フ命令デモアルノデアリマセウカ

○政府委員(岡實君) 本法施行ノ日ヨリ十ヶ年經マシレバ、交付スル權能ヲ失フノデアリマス

○相島勘次郎君 私ノ聞キ方ガ惡ルカッタカモ知リマセヌガ、本法ヲ施行シテカラ十年ヲ限リタルガ、例ヘバ五年經ッテカラ一ノ會社ガ起ッた假定シテ、其會社ハ施行ノ日ヨリ五年經ッテ居ルガ、其餘ノ五年ノ補助ヲ受ケルコトニナルノデアリマスガ、或ハ命令ノ定ムル所ニ依リタルカラ其命令デ、最近ノ中ニ出來タ會社デナケレバナラヌト云フコトニシテ、大概下ノ位ト政府ハ見込デシマウ考デアルカ、ソコヲ伺ヒタイ

○政府委員(岡實君) 本法施行ノ日、前ノモノモ其後ノモノモ入リマス

○相島勘次郎君 此第三條デスガ、資本金ノ總額ニ補助ヲスルト云フコトニナレバ、十

年ノ間ノ補助額ヲ定メルコトガ出來マスガ、又利益ノ百分ノ八ト云フコトニナッテ居リマスガ、若シ損ヲシタ時分ニハ損ヲシタモノモ加ヘテ、百分ノ八ヲ補助スルト云フコトニナルノデアリマスガ

○政府委員(岡實君) 御見解ノ通りデゴザイマス

○小山谷藏君 昨日參考材料ヲ要求シテ置キマシタガ、日本デ新ラシク染料若クハ醫藥ノ事業ヲ起シタ場合モ、內國ノ製産ニ要スル費用ト外國ノ生産費トノ比較ヲ大體ノモノデモ伺ヒタイと思ヒマス、原料ノ價格ハ分ッテ居リマスガ、生産費ノ方ガ分ッテ居リマセヌカラ

○政府委員(岡實君) 大體差上ケマシタ表ニ依テ御推知ヲ願ヒタイ考デゴザイマス

○小山谷藏君 ソレカラ繼續致シマシテ伺ヒマスガ、私共ノ甚ダ疑フノハ昨日政府委員ノ御話ニ、此法律ヲ施行スル結果トシテ補助ニ要スル金額ハ十年ヲ通ジテ一、三百萬圓モアレバ足ルト云フヤウ御見解ノヤウニ伺ヒマシタガ、其二、三百萬圓モアレバ足ルト云フ大體ノ御見込デアリマセウガ、其計算ノ基礎ハドウ云フ所カラ御出シナリマシタカ、御話ノ中ニモ歐洲ノ戰局ガ平和ノ解決ヲシタ時分ニ、獨逸ノ生産費ト我國ノ生産費トハ二三割位モ違フ場合モアッタヤウデゴザイマス、現在ニ於テ毎年染料ノミヲ見テモ五六百萬圓ノ輸入ヲシテ居ル狀態デアル、假リニ一割ニ生産費ガ高イトスレバ、百萬圓ノ補助ヲシナケレバ獨逸品ト競争スルコトガ出來ナイ、故ニ之ニ加フルニ八分ノ補助ヲスルコトニナリマスレバ、少クトモ一割八分ヲ毎年補助シナケレバナラヌ、サウスルト毎年ノ補助ニ要スルモノガ五百万圓ノ輸入ニ對シテ、一割ノ損害ガアッタシテ百萬圓、更ニソレニ八分ノ補助ヲスルストスレバ八十万圓、非常ニ計算ノ相違ガアルヤウニ思ヒマスガ、是レハ豫算ト直接ノ關係ヲ持ッテ來ルノデアルカラ、其邊ノ御研究ヲ少シク精細ニ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(岡實君) 政府ハ斯ウ考ヘテ居リマス、唯今ノ所ハ非常ニ染料ガ暴騰ヲ致シテ居リマス、此暴騰ハ久シク續カヌト存ジマスルシ、時局ガ假リニ來年ノ半ハニ收マルモノト致シマシテモ、來年中ハ染料ハヤハリ騰貴シテ居ルコト、考ヘマス、唯今山田君ノ御質問ニ對シテ御答致シマシタ通りデゴザイマス、而シテ再來年ニナリマシテモマダ歐洲各國ニ於ケル缺乏ヲ補ハナケレバナラヌ關係カラ、時局以前ノ相場ニ戻ルコトハ餘程困難ドラウト存ジテ居リマス、若シ染料ガ差當リ高キ値段ヲ保ッテ居ルナラバ、政府ノ補助ハ全然要ラヌノデアリマス、此補助利子ヲ給スル所以ノモノハ、全ク獨逸ノ染料ガ時局以前ノ價格ニ立戻ッタ場合ニ、各染料製造會社ガ此法律ノ中ニ飛込シテ來ル、ソレヲ救助網ヲ拵ヘテ置イテ救フテヤルヤウナモノデゴザイマス、其救助網ノ用ヲナスノハ來年中デハアルマイ、再來年ノ半バ以後ニナルドラウト、凡ソノ見當ヲ付テ居リマス、ソレカラ其中デモ最モ需要ノ廣イ染料ハ、各會社競フテ之ヲ拵ヘルカラ、ソレヲ拵ヘル所ノ技術ハ二三年ノ間ニ十分發達シ得ルノデアル、需要ノ最モ廣キ染料ヲ拵ヘルコトニ依ッテ相當ノ利益ヲ擧ゲラレカラ、ソレカラ先キハソレヲ土臺トシテ、今度ハ技術ノムヅカシイモノハ進シテ來ル、政府モ亦餘リ需要ハ廣クハナイガ、比較的技術ノ困難ナルモノニ研究ヲ及ボシ指導シテ行ク、此研究調査ト云フコトニ費用ガ要ル、サウ云フコトデ是ガ有要ナルモノニナッテ來ルモノト存ジマス、ソコデ今日御手許ニ差出シマシタ調査書ニモアリマ

ス通り、我國テ拵ヘル場合ニハ原料其他ノ關係ニ於テ、二割モ高ウゴザイマスケレドモ、獨逸カラ參リマスニハドウシテモ運賃ニ於テハ一割掛ル、例ヘバ五百万圓ノモノガ獨逸カラ日本ニ來ルノニハ五十圓ノ運賃ガ掛ル、ソレカラ關稅ニ於テ一割以上二割位ノモノモアリマスガ、假ニ關稅ヲ一割ト見テモ兩方合セテ二割、ソレカラ保險料ヲ拂ハナケレバナライ、又口錢モ拂ハナケレバナライ、扱人ニ對スル手数料モ要ル、其他ノ雜費ヲ合セテ之ヲ一割五分ト見積ルト、三割五分ガ獨逸品ガ當然價ガ高ナル、三割五分時トシテハ四割モ掛ラケテ、初メテ我國ニ到達スル譯ニナルノデゴザイマス、獨逸品ガ我國ニ入ッテ來ルノニハ、二割五分モ四割モノ損ヲ豫メ製品ノ上ニ見積ラナケレバナラヌノデアリマスカラ、茲ニ於テ我國テ拵ヘルマシタモノト一方競争シ得ル位置ニ立ツカラ、獨逸品ハ決シテ我國ヨリ廉クナリト云フ次第ニ陷ル、原料ハ其通り其他勞銀ニ於テモ、ドウシテモ獨逸ノ勞銀ヨリ我國ガ廉イ物ニ依ッテ非常ニ違フノデゴザイマスカラ、何割廉イト云フコトハ申上ゲマセヌガ、凡ソ半分位我國ノ方ガ廉イト云フコトハ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、其他工費雜費ノ製造工費ノ上ニ於テモ獨逸ヨリ我國ノ方ガ低廉デアリマス、サウ致シマス獨逸品ガ今申シマシタダケノ損失ヲ冒シテ我國ニ這入ッテ來ル、其上ニ尙ホ我國ハ勞銀工費ノ點ニ於テ原料ノ損失ヲ補フコトガ出來ルトスレバ、大體ニ於テ獨逸品ト對抗シ得ルト考ヘマス、併シ是ハ總テノ染料ニ付テ斯ク申スノデハ無論ナリノデアリマシテ、最モ我國ノ廣ク需用サレル黒、赤若クハ藍等ノ普通最モ廣ク行レル染料ニ付テ、此事ヲ申スコトガ出來ルト思ヒマス、非常ニ面倒ナ技術上ノ經驗ヲ要スルモノニ付テハ、獨逸ノ輸入ニ待タナケレバナラヌト思ヒマス、先ヅ原料ハ高イ、併ナガラ獨逸品ガ此處マデ來ルニ損失ガアル、ソレニ依ッテ對抗出來ル、オマケニ工賃、工費其他ニ於テ廉イ我國ニ廣ク用ヒラレルモノハ、用ヒシメヤウト云フ見當ヲ付ケテ、右見當カラ必ズシモ政府ガハ朱ノ補給ヲ毎年ヤルト云フノデハナライ、初メノ年ハヤラヌノミナラズ、次ノ年モヤラヌコトガ出來ヤウ、愈々此救網ノ中ニ會社カ通ゲ込デ來タラ、土臺ノ道ガ立ッテ居ルカラ、會社ハ四五分、配當ガ出來ル地位ニ居ル、サウスレバ政府ノ補給ハ三四分テ立タンカト云フノデ、是ハ二四年先ノコトヲ今カラ云フノデゴザイマシテ、極メテ雪ラ掴ムヤウナコトデゴザイマスガ、大體ノ見當トシテ二百万圓内外テ足リヤウト云フ見込デゴザイマス、其計數何レニアラヤト云フコトハ、頗ル一々算盤ヲ合セテヤルノハヤリ惡ウゴザイマス

○小山谷藏君 政府委員ノ御困難アルト云フコトハ、御察シ申上ゲテ、餘リ此處所テ其事ヲ討論スル必要ハナイト思ヒマスガ、唯今ノ御説明ハ要スルニ戰後此唯今時局ノタメニ非常ニ變化ヲ來シテ居ル、又染料ノムヅカシイ品物ヲ從ッテ日本ニ送ル需用ノ範圍ノ極メテ狹イト云フ御話ガゴザイマシタガ、是等ハ盡ク避ケテ若シ御話ノ如ク原料ハ日本ノ内地ニ於テ多少高イケレドモ工賃ニ於テ非常ニ廉イ、又獨逸カラ日本ニ持ッテ來ルニハ運賃關稅等四割五分モ見ナケレバナラヌト云フ狀態デアッタラ、今日迄政府ノ保護ガナクテモ既ニ起ラナケレバナラヌヲ私ハ思フ、其ムヅカシイ品物ハ別ニシテ、極メテ平易ニ而モ工賃ガ廉ク、獨逸カラ此處迄持ッテ來ルニ、四割モ五割モ生産費ニ加ヘル超過シタ危險ヲ持タナケレバナラヌト云フ狀態ナラ、既ニ今日迄ニ起ッテ居ナケレバナラヌモノノデアリマス、然ルニ更ニ起ラザルノミナラズ、殆ド之ニ注目スルハスライト云フコトハ、今政府委員ガ御説明ニナルガ如ク爾ク樂觀的ニ見ルコトハ出來ヌ事

業デアルト私共信ズルノミナラズ、此仕事ヲ始メタト云フコトデ、成程化學研究所ノ研究室ハ立派ニ出來上ッテモ、幾多ノ經驗幾多ノ犧牲ヲ拂ハナケレバ、決シテ對抗ハサウ容易ニ出來ルト云フコトハ甚ダ信用スルコトハ難イ、何種ノ事業デモ總テサウデアルガ、殊ニ化學工業染料ノ如キ、サウデアラウト私ハ信ズル、從ッテ今政府委員ノ説明ニナッタ如ク、運賃關稅其他ノ保護ニ依ッテ所謂普通ノ極ク容易イ而モ最モ多ク需用サレルコロノ平易ノ染料ハ、直チニ獨逸品ト對抗シ得ラレルヤウナ狀態、若クハソレ以上ニヤッテ四五分自分テ配當シ得ラレル御豫定ニナッテ居リマスガ、ソレハ大ナル間違ガ起ランカト私共思ハレマスガ、其見込ノ點ニ付テハ何レガ正シイカ、何レガ間違ッテ居ルカト云フコトヲ、裁斷スル基礎トナルベキモノハ持チマセヌカラ之ニ止メマシテ、モウ一ツ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマスノハ、最前既ニ染料會社ノ基礎トナルベキ仕事、容易クサレルモノガ自分テ生産シ得ラレルヤウニナッタラ、ソレカラ進シテムヅカシイ仕事、即チ大ニ研究ヲ要スルヤウナ事業ヲ進メル積リデアル、ソレニ對シテ所謂利子ノ補給ヲシテヤルト云フヤウナ御方針デアルヤウニ御説明ヲ伺ヒマシタガ、成程政府ノ御方針通り、此仕事ハ最モ緊急ニ多ク費用ヲ使ッテ居ル、又使ハナレバ其事業ガ成立ツト云ハレヌ、從ッテ其研究ニ要スル費用ト云フモノハ、餘程標準ガムヅカシイト私共思フ、政府ガ幾ラ使ッテモ八分マデノ補給ヲシテ吳レルカラ此補給ヲシ得ラレル間ニハ、會社ガ幾ラ研究費ニ金ヲ使ッテモ、ソレハ政府ノ補給ヲ得ラレルト云フコトデ、殆ド所謂研究ト云フコトニ對シテモ、全ク政府ガ金ヲ出シテ勝手ニ研究サセルト云フコトハ、染料會社ノ所謂政府ノ御方針ハ大キナ會社ニ向ッテ八分與ヘルガ、民間ノ個人經營者クハ合資會社其他ノ形式デヤッテ居ル事業ニ對シテハ、何等補給ヲシナイ、唯大キナ會社ニノミ補給ヲ與ヘテ、而モ其補給ヲ得テ居ル人ハ所謂研究ニ名ヲ藉リテ研究費ニハ幾ラ金ヲ使ッテモ、政府ハ補給スルト云フコトニナッテ來ルヤウニ思フ、若シサウ云フヤウナ場合ニナッタラバ、其標準ハドウ云フ金ヲ御取リニナル積リデアルカ

○政府委員(岡實君) 先ヅ第一ノ御尋ニ對シテ、尙ホ一應申シテ置キマス、此染料事業ハムヅカシイコトハ前述ベマシタ通りデゴザイマス、併ナガラ昨日モ高松技師カラ續々申述ベマシタ通り、日本ニ土著シ得ル性質ヲ持ッテ居ル、若シモ是ガ始メカラ土著シナイモノデアッタラバ、何等施設ヲシナイノガ宜イノデアリマスガ、免ニ角或ル一ノ山ヲ越シサヘスレバ、即チ日本デ之ヲ拵ヘルニ多少ノ犧牲ヲ要スル、即チ研究調查ヲ命ジテ見テ、マダヤッタコトガナイ仕事デアルカラ、俗ニ謂フ鬼ガ出ルカ蛇ガ出ルカ分ラヌト云フ如キ危險ノ工業デゴザイマスカラ、是迄起ラナカッタノハ最初ニ非常ニ犧牲ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ虞レガアルノデ、起ラナカッタノデアリマス、併ナガラ其犧牲ニ對シテ政府ガ補給ヲシテヤル、實驗時代調査時代ニ起ッテ損失ヲ政府デ見テヤルト云フコトニ致シマスレバ、此事業ハ日本ニ土著スル最初ノ基礎ニ入ッテ山ヲ越エサセテ、段々平地ニ進メテ行ク、日本ニハ古イ色素ガアリマスカラ、既ニ山ヲ越エテ平地ニ入ッテ行ク、先程申上ゲマシタ如ク先ヅ獨逸品トノ關係ニナルモノデゴザイマス、強チニ非常ニ需用ノ廣イモノデアルカラ、關稅ヲウシト掛ケナケレバナラヌト云フヤウナ悲觀論ヲスルニハ及バナイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ御質問デゴザイマスガ、其御趣旨ハ研究ニ名ヲ藉リテイロノノ損失ヲ爲ス場合ニ、之ヲ如何ニスルヤト云フ質問ト了解致シマシタ、政府ハ此事業ヲ遂行スルニ付キ

マシテハ、既ニ會社ト密接ノ關係ヲ持チマシテ、先ヅ初メニ凡ソ此一年ニ何ヲ製造スル
儲カル方ノ染料ノ額ハ幾何ナル、又尙儲カラナイ染料ノ額ハ幾何ナル、ソレヲ造ッテ
損ヲスル、染料ノ額ハ幾ラアルカ、而シテ其計畫ハ斯ウシナケレバナラヌト云フガ如キ、
一年ノ計畫ノ事柄ヲ隔意ナク會社ト相談ヲ致ス積リデアリマス、先ヅ此方カラ幾ラ
儲カル、是ハ損ヲスルト云フコトヲ交渉シ以テ凡ソノ經過ニ就テ相談ノ上認可ヲスル、其
認可シテ計畫ニ從ヒマシテ其後ニ仕事ヲヤラス、研究ニバカリ非常ナ費用ヲ使ウト云フ
コトハ出來ルカゲ避ケシメタイト云フ考デス

○小山谷藏君 此項規定ニ就テ參考書類ヲ戴イタ、第五項ノ損害ハ其役員又ハ支
配人ニ責ヲ負ハスベキ場合ニ、尙政府ハ之ヲ補給スルト云フヤウナ風ニ見エルガ、是ハ其
内ニ事態重大ト認めル時ハ補助金額ノ算出ニ付キ其損害ノ全部、又ハ一部ヲ補填ス
ルト云フコトデ、詰リ會社ノ怠慢若クハ犯罪其他ノコトデ生ジタ場合ニト云フコトガアリ
マスガ、事態が重大デアリマシタ怠慢若クハ犯罪過失ヨリ損失ヲ生ジタ重大ナル場合ニ、
全部又ハ一部ヲ補填スルト云フ事ハ、是ハ餘程寛大ナル補助命令ノヤウニ見受ケマスガ
○政府委員(岡實君) 成程チヨットサウ見エルカモ知レマセヌガ、併シ損ヲスルト云フ
場合ニハ多クハ過失ト云フコトデハ、ソレヲ考ヘルナラバ損ヲシナイデ済ムヤウナ場合ガアラ
ウト思ヒマス、損ヲスル場合ニハ何カ怠慢ガアル、十分勉強シテ居タナラバ損ハ生ジナイ、
ソレヲ調査シ其損失ガ怠慢ノ爲ニスウ云フ損ヲシタトコロヲ政府ハ始終ソレヲ研究シテ
補助ヲスル、會社ノ方デハ安心シテ居レナイヤウニ、事態重大ト認めル損失ガゴザイマシ
タラ、其狀態ノ調へ過失ニ依ツタ場合ニハ政府ハ補填ヲシナイ、又重役ガ金ヲ持出シタト
云フヤウナ時ニハ、會社ノ計算ハ無論損ニナリマス、サウ云フ場合ハ無論補填シマセヌ、過
失怠慢ガアツタ時ハ十分研究モ出來ヌコトニナリマスガ、サウ云フ場合デゴザイマス

○河崎助太郎君 本員モ御尋シタイ、先刻小林君カラモ質問ガアリマシタ補助金額ノ
確定シタ限度ガ無イト同時ニ、主ニ醫藥染料ハ獨逸帝國ニ於テノ專賣權特許法ナドノ
規定ハ、今日デハ交戦ノ爲メニ其權利ハ消滅シテ居ルガ、今後平和克復後ニ此權利ヲ
復活サレモノカ、或ハ絶對的ニ消滅シテマウモノデアルカ、日本人ガ其通りヤッテ差支
ナイモノデゴザイマスガ、ソレガ伺ヒタイノト、火藥爆藥染料藥ニ對シテ此補助法案ヲ施行
サレタナラバ、陸軍省ノ方デ之ニ對スル、或ハ輸入ノ爲ニ非常ニ多額ヲ計上サレテ居ルガ、
ドノ位削減サレカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(岡實君) 補助金額ハ凡ソドノ位デアリマセウカ、モウ少シ具體的ナ計數
ヲ示セト云フ御注文デゴザイマスガ、政府ガ三百萬圓ト申シマスノハ……
○河崎助太郎君 三百萬圓ト云フノハ、十箇年ニ亘ツタト云フノデゴザイマス
○政府委員(岡實君) 是ハ唯案ガ無クシテ漫ニ三百萬圓ト云フノデナクシテ、凡ソ表
モ拵ヘテ居リマスガ、併シ今之ヲ政府トシテ議會ニ公ニスルコトハ憚リマス、ドウカ此點ヲ
御察シテ願ヒタイ、ソレカラ特許デゴザイマスガ、此特許ハ此間既ニ問題ニナリマシタノデ
ゴザイマスガ、先ヅ大體各國トモ特許ヲ全ク無効ナリト看做シテシマハヌノデゴザイマス、
帝國ノ特許ト雖モ是ハヤハリ或程度ニ於テ伸張スル主義ヲ取ッテ居リマス、ソレデ日本
政府ニ於テモ獨逸ノ特許ニ對シテ、全ク效力ヲ認メヌト云フ態度ハ取り得ナイノデゴザイ
マス、併ナガラ獨逸ノ特許數ハナカク多イノデゴザイマスガ、之ヲ認メヌト云フコトデアッ

テ見ルト、面白イ事業モ起リ得ルデアリマス、當業者ノ方カラ種々ノコトヲ申シテ來マ
ス、獨逸ノ特許ハ九百二十九件其中染料ニ對スルモノガ十二件ゴザイマス、先ヅ唯今ノ
所デハ政府トシテ特許權ノ全體ヲ認メヌト云フ態度ハ取り惡イノデゴザイマス、此ノ間總
豫算會デゴザイマシタカ本會デゴザイマシタカ、尙調査中ニアルト云フ答辯デゴザイマシタ
ガ、ソレ等ノ關係デヤハリ考慮致シテ居リマスノデスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ
モウ一ツ陸軍省ノ火藥ノ方ハ計數ニ亘リマスカラ後程申上ゲマス

○政府委員(中川望君) 御尋ノ特許權ハ藥品ニ付キマシテハ、御手許ニ廻ハシテアル
參考書ノ藥品ノ中ニ就テハアリマセヌ、元ノ商標登錄ヲ受ケテ居ルモノガ一ツアリマス
○河崎助太郎君 火藥ノ方ニハ一ツモアリマセヌカ、此事業ノ根本トシテ特許權ナド
ガ餘程影響スルモノデゴザイマスガ、チヨット承リタイ
○清水市太郎君 先刻續イテ御尋ヲスル答デアリマシタガ、第三條ノ補助ニ關聯シマシ
テ技師ヲ成ベタ使フヤウニシテ、其技師ノ數ヲ三人以上トカ五人以上トカ云フ風ノ命令
デモ出スデアリマスガ、或ハ三條ノ中ニ何人以下トカ何人マデハ幾ラノノ金額ニシ
テ、技師ノ數ヲ定ムルト云フ規定ニナサル御考ハ無イカト云フコトヲ云ツタトキニ、ソレハ
命令ノ中ニ於テ定メルト云フ政府委員ノ御答辯デアリマシタ、所ガ其參考トシテ御出シ
ニナツタモノヲ見マスルト、一向技師ノコトニ就キマシテハ唯主任技師者ノ氏名及ヒ履
歷ヲ附シテ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトアルダケデアリマシテ、私ノ御尋ヲシタヤウナ趣
意ハ餘リナイデアリマス、唯一人ノ技師ヲ置イテ、ソレニヤラシテ置ケバソレデ先ヅ資格
ガ備ハルト云フヤウニ見エルノデゴザイマス、ソレデハ甚ダ獎勵ノ意味ガ充分徹底シナイヤ
ウニ見ヘマスガ、如何デアリマセウカ、獨逸ノヤウニ數十名數百名ノ名ヲ雇フ時々刻々勸
ヲ附ケテ研究スル、發明ヲ一ツスレバ直グ配當ヲシテ大ニ利益ヲ得セシメテ、獎勵スルト
云フヤウナ研究ノ方法ヲ、我國ニ於テモ幾分デモ具似ルコトガ出來レバ宜イト云フ考デ
アリマスガ、此主任技師ヲ一人雇ッテ、ソレニヤラセテ置クト云フノデハ獎勵ノ趣旨ガ十
分デナイヤウデアリマスガ、ソレニ就テハ何カ箇條ヲ附加ヘルトカ云フ御考ハナイノデアリマ
スカ

○政府委員(岡實君) 是ハ曩キニ小山君ノ御尋ニ御答ヲ致シマシタヤウニ、獎勵ニ
付テハ常ニ會社ト十分ニ交渉ヲ遂ゲマシテ、例ヘバ本年ハ損ヲシテモ此染料ヲ造ッテ見
ヤウ、然ラバソレニ必要ナル技師ハドウスルカ、内地デ得ルコトガ出來ナケレバ外國カラ聘
僱スル必要モアルデアラウ、其他試驗調査研究ト云フコトニ就テハ、政府ハ總テ年度ノ
初メニ會社ト相談ヲシテ定メル積リデアリマス、之ニ關聯ヲ致シマシテ自ラ其研究調
査ヲナスベキ技師ニ就テモ、會社ニ對シテ充分ニ注文ヲナスコトガ出來ル、サウ云フ高イ
技師ハ雇ヘヌト云フヤウナ場合ガ生ジテ參リマシテモ、併シソレハ是非雇ハナケレバナラヌ
ト云フコトヲ、政府ハ一段進シテ申シ得ルコトヲ考ヘテ居リマス

○清水市太郎君 モウ一ツチヨット簡單ニ御願ヒガアリマス、此獨逸等カラ輸入スル主
ナル染料及ヒ藥品ノ額、輸入額ノ表ガ御示シガ願ヘレバ仕合セデアリマス
○政府委員(岡實君) 後カラ御廻シヲ致シマス
(午後ニシテハドウデスカト呼フ者ヨリ)

○委員長(綾部惣兵衛君) ソレデハ是レデ休息ニ致シマシテ午後カラ又開會スルコ
ト

トニ致シマス

午後零時十四分休憩

(午後一時懇談會ヲ開キ同四時十分散會セリ)